

## 革新的技術実証事業の紹介

### 九州における飼料生産組織、TMRセンター、子牛育成センターが連携する地域分業化大規模肉用牛繁殖経営の実証

【九州大規模肉用牛繁殖体系実証グループ】

#### 【背景】

肉用牛繁殖経営では飼料高騰や大規模化により自給飼料の安定的確保、作業労働競合の軽減が急務となっています。そのため、子牛生産のための一連の作業を地域内で分業化あるいは専門化して、各組織をより大規模に経営展開し、連携することでコストの低減をめざす地域営農体制の確立が役立つものと考えられています。

#### 【内容】

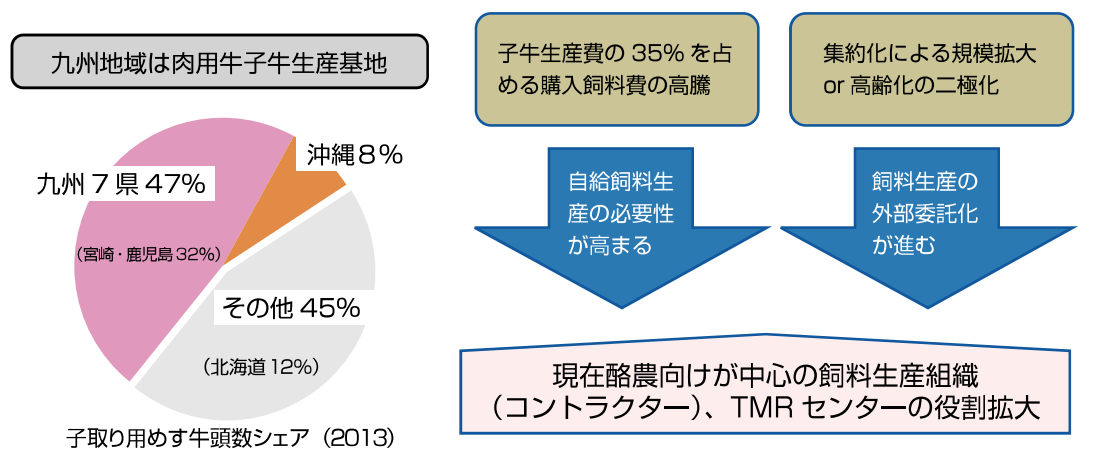
地域で分業化体制の取り組みを進めている鹿児島県大隅地域で実証を行います。飼料生産組織（コントラクター）には畑作や水田作との連携を含む周年飼料栽培技術の導入、飼料調製を担う TMR センターには食品副産物を利用した発酵 TMR 製造技

術およびロールバール簡易水分計の導入、繁殖農家には繁殖管理技術として肉用牛用代謝プロファイルテストと無線発情発見システムの導入、出荷までの育成牛飼育を担当する哺育・育成センターには開発済みの育成マニュアルを活用します。

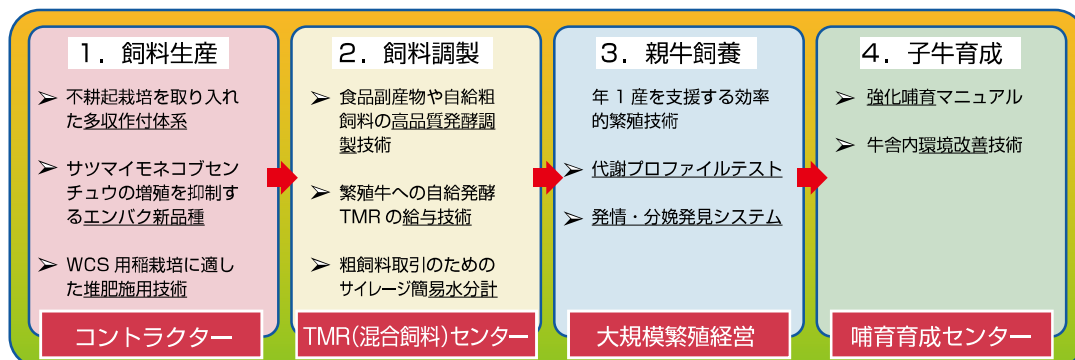
#### 【目標】

飼料作物栽培では現状比140%の反収増、TMR 調製・給与では実証研究に取り組む TMR センターで年間420万円の原料費削減を目標としています。また、水分計の市販化、繁殖関連では分娩事故率を現状の5%を1%に低減すること、哺育育成では飼料費を年間800万円/1000頭の削減を可能とする技術の実証も目標としています。

【畜産草地研究領域 服部 育男】



### 目標：分業組織ごとの生産効率の向上と高品質化



大規模実証により個別技術ごとに経済性等に及ぼす導入効果を評価

図 実証する技術内容と目標